



特集

つなぐ、つながる。地域ち いきと学校がっ こう

地域学校協働活動



こうした課題に対応し、子どもたちが「生きる力」を身につけるために、学校と地域住民などが力を合わせて学校運営に取り組む「コミュニティ・スクール」と、地域と学校が相互にパートナーとして行う「地域学校協働活動」の一体的な推進が必要です。そのためにはまず地域と学校が目標やビジョンを共有することが重要となります。

これからの学校と地域

少子高齢化の進行、グローバル化や情報化の進展、地域社会のつながりや支え合いの希薄化など、急激な社会の変化に伴い、学校と地域を取り巻く課題はますます複雑化、多様化しています。

地域と学校の連携。それは未来を担っていく子どもたちを地域全体で育てるとともに、地域の活気や地元の人々の生きがいにもつながっています。きっと、学校が好きになる。地域と学校が「つなぐ」「つながる」地域学校協働活動を中心に、地域と学校のイマを紹介します。

問 生涯学習課

コミュニティ・スクール

市では、平成25～29年度の5カ年をかけて、全ての小中学校で「コミュニティ・スクール」を導入しています。「コミュニティ・スクール」とは、学校、家庭、地域が共通理解を持つための場である「学校運営協議会」を設置した学校のことです。学校運営協議会では、学校と地域住民や保護者などが学校運営の方針や必要な支援などについて協議しています。

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を通じ、子どもを取り巻くさまざまな立場の人が学校運営への参画や支援、協力を行うことで、「地域とともにある学校づくり」がより一層進み、質の高い学校教育が実現することをめざしています。

地域学校協働活動

「地域学校協働活動」とは、「コミュニティ・スクール（学校運営協議会）」で共有された目標を達成するため、地域と学校がパートナーとして行う連携・協働の具体的な取り組みのことです。

一例としては、登下校の見守りや、花壇や通学路などの学校周辺環境の整備、体験活動、放課後の学習活動などです。

この取り組みを進めるため、市では令和5年度から主に、学校運営協議会で協議したことを地域との活動へとつなぐ役割の「地域学校協働活動推進員」を各学校に配置しています。

「地域学校協働活動」を進めることで、より幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」をめざしていきます。

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動。一体的な推進による相乗効果を期待して、新たな一歩を踏み出しました。

それぞれのメリット

地域は...

- ・生きがいにつながる
- ・地域でのネットワーク形成ができる
- ・地域の活気につながる

子どもたちは...

- ・学びや体験活動が充実する
- ・いろいろな大人と交流できる
- ・地域への愛情が芽生える

家庭は...

- ・学校や地域への理解が深まる
- ・地域での子育てという安心感が得られる
- ・地域の人たちとの関係が構築できる

学校は...

- ・地域の人たちの理解と協力が得られる
- ・負担が軽減され、教育活動が充実する
- ・子どもと向き合う時間が増える

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の関係



ち い き が っ こ う き ょ う ど う か つ ど う す い し ん い ん は な し き 地域学校協働活動推進員に話を聞きました

学校と地域がパートナーとなり、学校と地域が同じ目標に向かって進んでいく「地域学校協働活動」。この活動がスムーズに、そして継続して行われるためのキーパーソンが「地域学校協働活動推進委員」です。

今回は、筑紫野中学校で地域学校協働活動推進員として活動する西村 幸子さんに活動内容などの話を聞きました。

推進員の役割

「地域学校協働活動推進員(以下、推進員)」は簡単にいうと、地域と学校をつなぐパイプ役であり、調整などを行うコーディネーター役です。筑紫野市では令和5年度から配置を進め、現在市内すべての小中学校に推進員が配置されています。私は筑紫野中学校に勤めています。

推進員の活動は、学校の様子を知ることや先生たちの要望を知ることから始まります。そのため、私は学校内の職員室に自席を作ってもらい、すぐに連携が取れるようにしています。また、学校運営協議会にも出席し、会議の内容から、学校の抱える課題解決に協力してもらえ、地域の人



地域学校協働活動推進員
(地域コーディネーター)
西村 幸子さん



▲学校運営協議会で協議したことを活動につなげます

を探したり、地域の問題に対して学校ができることなどの提案やサポートを行っています。

「地域学校協働活動」と聞くと堅苦しく、何か真新しいことのように思いますが、そうではありません。学校の多忙化や地域の活動力の低下などにより相互の結びつきが弱くなってしまうと、地域と学校との関係を、両者の間に立ち、再構築していくことが私の役目だと思っています。

また、地域学校協働活動は、地域と学校の連携だけのように思われるかもしれませんが、学校と家庭、学校と他の学校なども含め、学校と関係を持つ各

所が連携し、地域の子どもたちを育てていくものです。

こんなことをしました！

筑紫野中学校では、職業講話という、社会で働く人から仕事内容やその仕事に就くまでの経緯などを聞く授業があります。そこでは、保育士になりたいという夢を努力して叶えた筑紫野中学校の卒業生を学校に提案し、実際にその人に講師となってもらいました。



▲卒業生の保護者も人気のカフェで働く講師として協力

また、職業体験では、市と協力して受け入れ可能な地域企業の情報を収集したり、つながりのある地域企業へ協力依頼を行ったりして、新たな職業体験の受け入れ企業を学校に提

案しました。

「こういった地域や企業との連携や調整は、学校の先生の負担も大きいと思います。」

また、夏祭りや餅つき、清掃などの地域行事における地域への学校からの協力として、中学生ボランティア派遣のサポートを行っています。

今後、地域などと学校とのパイプ役となつて情報共有を進めることができればと思います。

推進員になつたきっかけ

私は元々、筑紫野中学校のPTA役員を経験していました。そして、私の子どもたちが学校を卒業した後も、少しでも学校や地域の子どもたちの子育てのお役に立てればと思い、10年間、無理のない範囲で学校活動を支援するボランティアをしていました。

そんな中で、地域と学校をつなぐ推進員のお話をいただきました。推進員としてはまだ半年しか経験していませんが、少しずつでも学校や地域のお手伝いをして、皆さんが暮らしやすいと思つてくれるようにしてい

ければと思います。

ご協力をお願いします

推進員の仕事は特別なものとは捉えていません。常に自然体のままで、できるときにできることをやって、楽しみながら地域と学校をつなぐサポートをしていきたいと思っています。

また、小学校の子どもも中学校の子どもも、地域にとっては同じ子どもです。今後は中学校ブロックなどで連携を持ち、小学校の推進員さんなどと協力しながら、より地域で子どもたちを見守り、育てる環境づくりができればと考えています。

今後、地域の皆さんには、私たち推進員や学校から、学校や地域における活動の協力をお願いをするかもしれません。そのときは無理のない範囲で構いませんので、協力していただけると助かります。

コーディネーターダイアリー

ちいされんけいせつめいかい 地域連携説明会

夏まつりや新年の餅つきなど、地域が行うイベントに、ボランティアとして中学生に協力してもらうための説明会が行われました。生徒たちは、自分たちの住む地域の説明会に参加します。ここでは推進員として、全体的見回りを行い、それぞれの地域が問題なく進行できるようサポートを行いました。



しよくばたいけん 職場体験

2年生が行った職場体験では、生徒を受け入れてくれそうな新規企業の情報を学校へ提供し、実際に生徒を受け入れていただきました。私個人が持つつながりがきっかけとなることもあり、協力いただいた企業には生徒の様子を見に行くのと合わせて、お礼のあいさつを行いました。



学校の思い。

地域の声。

地域学校協働活動推進員への思いや、これからの地域と学校の在り方について、それぞれに話を聞いてみました。

子どもたちは本当に元気いっぱいです。これからの地域運営において、地域がより活気付くためには若い人たちの力が必要です。地域と学校との連携が大切になってきています。



俗明院区
萩尾 区長

！ご協力をお願いします！

学校は地域への働きかけが弱いところがあります。地域の要望を学校へ伝えてもらい、学校の要望を地域へ伝えてもらう。それが連携につながり、子どもたちの健やかな成長につながります。そのパイプ役として西村さんには期待しています。

また、今の子どもたちが大人になったときに、地域を愛し地域の子どもたちをまた育てていく。そのような循環を作っていけたらと思います。その基礎を培うための最初の土台作りとしても期待しています。



筑紫野中学校
寺下 校長

地域の行事を通して生徒たちが学ぶこともたくさんあると思います。地域の中で子どもたちを育てていきながら、地域と学校が一体となって地域活動を活発にしていく。そういったことがこれからより一層求められてくると思います。



上阿志岐西区
坂本 区長

地域学校協働活動推進員
西村 幸子 さん



生涯学習コーディネーター
濱田

今回の特集や生涯学習情報もやいでの活動紹介を通して地域の皆さんに地域学校協働活動やコミュニティ・スクールの取り組みをもっと知ってもらいたいと思っています。教育委員会では、地域と学校のつなぎ役である地域学校協働活動推進員さんと連携・協力しながら、地域総がかりで子どもたちを育てる取り組みを今後も一層進めていきます。

子どもたちの教育に地元地域のつながりは大切です。しかしその一方で、教職員が持つ地域とのつながりは「生徒の保護者」だけということが多くあります。そういったときに、地域とのつながりを築く起点として西村さんには重要な役割を担ってもらっています。



筑紫野中学校
梅崎 先生



Curry House 光
柴田 さん

職場体験の話を受けて、受け入れを行いました。生徒たちには職場体験を通して、働くことの大変さを理解し、親が働いてくれているという想像につながってくれればと思います。またこれで、生徒が地域とのつながりを大切にできるきっかけになればと思います。

地域学校協働活動には

魅力がいっぱい

地域ごとにさまざまな特色のある地域学校協働活動。広報ちくしのでは毎号、生涯学習情報もやいの中の「地域と学校のコラボ日記」でそれぞれの地域での取り組みを紹介しています。

(今月号は23ページに掲載しています)



バディスポーツ幼稚園
ゆうか 先生

職業講話の依頼を受けて、生徒たちの前でお話をさせていただきました。私は幼少のころから保育士になりたいと考えており、その実現に向けて努力したことを話しました。私自身も良い経験になりましたし、後日生徒からいただいたお礼の手紙は大切に保管させてもらっています。